



トップスニュース

Vol.85

2015年5月10日

加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



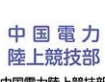
広島メイバルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部



Coca-Cola West
Red Sparks

コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



Carp

広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



フラワーフェス 雨にも負けずトップスパレード

40回目を迎えた広島が誇る花の祭典、ひろしまフラワーフェスティバルが5月3日から3日間、新緑が映える平和大通り、平和記念公園を中心に開かれ、多くの市民らでにぎわった。

トップス加盟の8競技・9団体も選手らが参加、スポーツの楽しさ、素晴らしさをアピールした。

花のパレードがあった初日の3日は、あいにくの雨となったが、クラブ名の入った横断幕を先頭に幟をはためかせながら元気よく行進、沿道の声援に応えた。

今年は初めてホッケーの広島スポーツ少年団がスティックを持って参加。時折、路上にマットを敷いて「ミニホッケー」を披露する姿があった。

平和公園の花の塔そばに設けられた「トップスブース」には9団体のクラブパネルなどが飾られ、アンケートも行い、道行く人たちにスポーツへの関心を高める活動にもひと役買った。また、ブース前にはハンドボールのミニコートを設置、ちびっ子たちと7人スローを楽しむなど、5月の爽やかな一日を満喫した。



近づくリオ五輪



三橋 亜記



湯田 葉月



西村 綾加



小野真由美

コカ・コーラから4人選出

リオデジャネイロ・オリンピックが近づいてきた。4大会連続4度目出場のホッケー女子「さくらジャパン」は、代表入りメンバーの選考を兼ねて25日からオーストラリア・ダーウィンでの4カ国大会に出場している。

遠征メンバーは18人。五輪では16人に絞られるため、サバイバル遠征となる。コカ・コーラウエストからはロンドン五輪代表の三橋のほか北京五輪代表のベテラン小野や湯田、西村がメンバー入りした。

ホッケー女子

代表へ豪州遠征

NPO法人広島トップススポーツクラブネットワーク（トップス広島）は26日、猫田記念体育館で理事会・総会を開き、2015年度決算や新年度予算、新事業計画などを全会一致で承認した。

理事会には山下仁理事長や理事全員（委任状を含む）が出席、事務局の議案の説明を受けて審議した。そのあとの総会でも異論はなく、満場一致で了承された。

新年度の事業計画では地域貢献、社会貢献にいつそう積極的に取り組むことを確認したほか、広島のスポーツ界発展に向けてさらに努力していくことを申し合わせた。

また、トップス広島として意思の疎通をこれまで以上に図り、一致協力しながら強化、普及、振興に努めることを再確認した。

2000年に設立し、再来年で20年を迎えるため、記念イベント開催などを各団体とともに詰めていく。

絆を深め、さらなる発展目指す

トップス広島 理事会・総会で確認

レジェンド 森崎和

史上14人目 J1通算400試合出場

■森崎和の年度別成績■

年度	出場	得点	J2	得点
1999	3	0	—	—
2000	24	3	—	—
2001	26	1	—	—
2002	25	1	—	—
2003	—	—	41	1
2004	28	5	—	—
2005	34	4	—	—
2006	26	2	—	—
2007	32	0	—	—
2008	—	—	33	2
2009	18	0	—	—
2010	17	0	—	—
2011	32	0	—	—
2012	33	2	—	—
2013	33	0	—	—
2014	29	0	—	—
2015	33	1	—	—
2016	7	0	—	—
計	400	19	74	3

(注)記録は第1S第13節現在

サンフレッチェ広島のリジェンド、日本人最年長の森崎和幸(カズ)が21日、ホームのG大阪戦でGK3人を含め14人目となるJ1通算400試合出場を達成した。

安芸区出身のカズは小学2年で双子の弟、浩司とともにサッカー人生をスタートさせ、中学卒業後にサンフレッチェでプレー。高校3年の11月、今回と同じG大阪戦でJ1デビュー。翌年には24試合に出場して3得点、新人王に輝いた。以来18年、サンフレッチェを貫いてきた。

しかし2009年に慢性疲労性症候群という難病にかかったが、それに打ち勝ち今回の偉業にこぎつけた。「周囲の皆さんの支えがあったから」と感謝の言葉を口にした。

18年、病魔に打ち勝ち
支え感謝



若手の経験収穫 ACLグループリーグ敗退

4度目のアジアの戦いはグループリーグでの敗退に終わった。

2年ぶりにアジアチャンピオンズリーグ(ACL)に出場のサンフレッチェ広島は、グループリーグ3勝3敗の3位で決勝トーナメント進出はならなかった。

リーグと並行して戦う中で、森保監督が選択したのはターンオーバー。日ごろ出番の少ない若手を起用した。ルーキー森島(四日市中央工高出)はじめ金、大谷、宮吉、皆川、吉野、高橋、さらにはゴールマウスも増田に経験を積ませた。

水を得た魚のように若手はピッチを駆け回ったが、やはりまだ主力とは個の力で差があったと言わざるを得ない。だが、そうした中でも3勝という結果がついてきたことは自信になったことだろう。戦力底上げへの布石は打たれた。

■ACLグループリーグ成績■

順位	対戦相手	スコア	得点	失点
①	●1 (0-0, 1-2)	2 山東 魯 能	清水	千葉
②	●1 (1-1, 0-3)	4 F C ソウル	浅野 2、清水	宮吉 柴崎
③	○3 (1-0, 2-0)	0 ブリ ラ ム	浅野、皆川	失点 8 差 1
④	○2 (1-0, 1-0)	0 ブリ ラ ム		
⑤	●0 (0-1, 0-0)	1 山東 魯 能		
⑥	○2 (2-0, 0-1)	1 F C ソウル		

※3位 6試合 3勝3敗 得点9 失点8 差1



左から坂本、桑野、シグフソン

湧永製菓は3人

坂本伸博、桑野弘規、シグフソン

年度初めは別れの季節でもある。ハンドボール日本リーグの強豪、湧永製菓は3人、メイプルレッズは4人がチームを離れた。

坂本は県立高教師に転向

湧永製菓の3人はそれぞれが違った道を歩むことになった。

地元安芸高田市出身で「甲田の星」と期待され、サイドを張りまくった坂本は、県立祇園北高の体育教師として再出発した。県・広島市教委が初めて実施した特別選考で採用した6人のうちの1人に選ばれた。坂本は「後ろ髪を引かれる思いがないと言えばウソになるが、指導者としてインターハイに生徒を連れて行きたい」と話している。

桑野は社業に専念、シグフソンは出身のアイスランドに帰国する。

メイプルは4人が第2の人生歩む

林あすみ 松村 杏里 毛利 久美



メイプルレッズは主将の毛利、GK林、ケガに泣いた木田がユニホームを脱ぐ。おりひめジャパンの松村は現役続行を視野に入れている。

木田 梨砂

HIROSHIMA
MAPLE
REDS
広島メイプルレッズ



JTファン感謝デー

来季も頼んだッ

バレーボールの黒鷲旗全日本男女優勝大会で12年ぶり優勝を飾り、女子とアベック優勝を飾ったJTが8日、猫田記念体育館で恒例のファン感謝デーを開いた。

日本リーグの連覇は逃したが、有終の美で締めくくっただけに、館内は喜びと歓声が渦巻いた。

約600人のファンがつどい、選手が物まねを披露したり、トークショーで日ごろの熱い声援に応えた。

主将の越川は「皆さんの応援で力をもらい、最後に優勝という形で終われた。ありがとうございました」と感謝の言葉を述べると「来シーズンも頼むぞ」の声も聞かれた。

また、熊本地震の義捐金も募り、多くの浄財が集まった。

黒鷲旗V 有終の美ファンと共有

惜しまれながらコートに別れ……